

下水道事業会計の台所事情

下水道事業会計の財政公表

問い合わせ 下水道グループ (☎ 05) 90522

下水道事業では、汚水を適切に処理し、衛生的な生活環境を確保するとともに、大雨などによる浸水被害を防ぐことを目的に、利用者の皆さんからの使用料や市の一般会計からの負担金などにより、下水道や浄化槽の整備を行っています。

今号では、下水道事業の平成29年度上半期における経営状況についてお知らせします。

事業の概況

下水の処理や雨水対策、浄化槽の設置などを行う

市の下水道事業では、公共下水道事業と個別排水処理施設事業を行う

ています。

このうち、公共下水道事業は、各家庭から排出される生活排水などを処理するため、主に市街地（下水道管調整区域）で、し尿や生活排水を流す下水道管である『污水管渠』や、下水の処理場『若山浄化センター』の整備を行うとともに、大雨時の浸

水対策として、雨水を河川などに排出するための下水道管『雨水管渠』の整備を行っています。

個別排水処理施設事業では、公共下水道事業で污水管渠の整備を行わない地域において、市民の皆さんの希望に応じて、各家庭に、生活排水などを洗浄して川などに処理するための設備である『浄化槽』を設置しています。

経理の状況

平成29年度上半期の純利益は約6億円

下水道事業の予算は、施設の維持管理などを行うための『収益的収支』と、新たな施設の整備や既存施設の更新を行うための『資本的収支』に分かれています。

企業の経営状況を表す『損益計算書』は、『収益的収支』から仕入れ

や売り上げに係る消費税を控除して作成するものです。

平成29年度上半期の『損益計算書』では、下水道事業自体の経営成績を示す営業利益は、約3億3千万円の赤字となっていますが、これに営業外損益や特別損失などを加えた純利益は、市の一般会計からの補助金を上半期に収入したことなどにより、約6億円の黒字となっています。



▲生活排水などの下水を河川に流せるよう浄化する施設『若山浄化センター』

平成29年9月末時点における公共下水道の整備状況

区分	平成29年3月末	平成29年9月末	平成29年度上半期増減
水洗化人口	40,710人	40,706人	▲4人
水洗化率	86.7%	86.8%	0.1%

※水洗化人口は、生活排水などの排出に下水道を利用している人数で、水洗化率は、水洗化人口を各時点の供用開始人口で除した数値です。

平成29年9月末時点における浄化槽の設置基数

区分	平成29年3月末	平成29年9月末	平成29年度上半期増減
設置基数	68基	70基	2基

※設置基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含みません。